

有栖山公園通信

其乃八

平成十五年五月五日 (RamblingPageant3)
有栖山公園 (<http://aliceyama.cool.ne.jp/>)
ありすやま ぶどう (aliceyama@cool.ne.jp)

はじめまして&こんにちは。今日は御立寄りありがとうございます。
「ありすやま ぶどう」と申します、しがないSS書き同人屋でございます。

冬コミ以来半年振りのイベント。初参加からすでに一年以上経過して、やるのがすでになくなってきている模様。というか、出力が上がらないですねえ……こんなことじゃいけないのでしょうか。「神が来る」という表現がありますが、所詮は書き手の根性の問題なんでしょうね。シーン書きからストーリー書きになるのは、とてつもなく大変なようで。

小説のネタは現在2本分。夏に向けて執筆中ですが、もはやキャラが動いてくれませぬ(;´Д`;) もう一度通して再プレイの必要がありますかねえ、これは。愛が足りない、愛が！もしくは萌えが足りない！？

そういえば、PS2版が発売になったとか？ 我が家にはそんな高度な機械は無いのでプレイできませんが。PC版でしょ、やっぱり。君望はエロ抜きには語れませんからw エロが無い君望なんて、ヤキソバが無いヤキソバパンくらい意味が無いですから、ええ。

ヤキソバパンといえば、マブラヴ。綾峰～～は良いとして、プレイされました？ 私はプレイしたのですが、どうもいまいちだったというか、ノリが合わないというか。こればかりは好みですからね。まあキャラの性格さえつかめれば「因果量子理論」は、物書きにとっては最高の理論なのですが。

さて、以降のイベントですが。おそらくコミケのみを狙っていくかと。当選するかどうかは別として。取り合えず、夏コミの応募は終わっています。後は祈るのみ。夏冬のお祭りは欠かせませんからね。ということで、またどこかでお会いしましょう～

窓際にある、彼に買ってもらった燈色の薔薇が揺らぐ。ベッドに腰掛けぼんやりと眺めながら、最近耳にする噂を思い出す。恋愛にはつきものの、悲しい噂。彼が他の人と会っている、という噂。同情と好奇に満ちた目で伝えてくる人々。あなたたちの玩具になるほど、私の気持ちは安っぽいものじゃない。平気な振りをすればするほど、惨めな気持ちになるけれど、強がって見せる。

でも不思議。すぐに浮かんだ顔は他の誰でもない、姉さんの顔。それは、ずっと感じていたこと。三人で会っている時に、姉さんの瞳は彼だけを見ていた。あの頃と同じ、恋をしている色を浮かべて。何一つ変わらない、変わっていない。

だけど姉さんを責めたりする気持ちは、少しもない。だって姉さんは、彼に恋をしているだけ。今も昔も何一つ変わらず。そして、私と同じように。人を愛することに、決まりなんて何も無い。私が何も知らなければ、知らない振りをしていればいいだけ。どんな風にしていつも通りにすればいいか、それだけを考えればいいだけ。私の中で解決することだから、心の中で決めている。これからも彼を愛していくと。そう信じていけば、この愛は続いていくと。

窓際にある、彼に買ってもらった燈色の薔薇が揺らぐ。窓の閉ざされた部屋で。